

**ジョイント・ベンチャーのラブレ (LAVLE) は、
船舶の電化を促進するため、本社の設置および増資を発表**

米国ワシントン州アナコルテス、2018年10月17日：

LAVLE USA, Inc.は、ワシントン州アナコルテスに本社を設置したことを6月に発表しました。LAVLEは、日本のバッテリー会社である3DOMの高度なエネルギー貯蔵技術と、Ockerman Automationのクラス最高の海洋エンジニアリング、設計、システムインテグレーションサービスを組み合わせた、防衛、再生可能エネルギー、および海上輸送市場に商品・サービスを提供する合弁会社です。

また、LAVLEは、日本のパートナーから、ワシントン州法人に対し本年最大の民間融資のひとつとなる、多額の資本投資を受けることも発表しました。増資の過半数はLAVLEの合弁パートナーである3DOMが提供します。LAVLEは、世界の主要市場における電化とハイブリッド化を促進するために、このパートナーの製品と経験を活用していきます。

このLAVLE合弁会社は、世界の海運業界が効率を高め、燃料と維持費を削減し、排出ガスを低減することを目的とした電化の傾向に歩調を合わせようとしているという重要な時に設立されています。LAVLEは、ワシントン州に海洋関連の設計や技術の会社が集まっていること、および同州が海洋およびクリーンエネルギー分野における革新やベストプラクティスを促進しようとしていることから、アナコルテスに本社を設立することに致しました。

在シアトル日本国総領事の山田洋一郎氏は、この機会に、「LAVLEは、海上輸送の電化のリーダーとなる革新的な合弁企業として、日本ーワシントン州間の経済協力の新たな先駆者となります。これは、温室効果ガスの大きな排出源を削減し、クリーンな技術を開発し、海洋分野の事業を拡大するという三方勝ちとなります。」と述べられました。

ワシントン州インズレー知事の下にある商務省の海洋部門トップであるジョシュア・バーガー氏は、「ワシントン州は、海洋関連の電化に向けた卓越した研究拠点を素早くなりつつあります。革新と海洋利用による経済開発を加速しようとする私たちの努力の結果、海洋コミュニティーに投資と知見が集まってきていることをこの新しい合弁事業が示しています。日本の投資家や技術開発陣との重要な関係に基づき、このような努力への支援を継続し続けることを願っています」と述べられました。

LAVLEのCEOであるDr. Jason Nyeは、国務省と民間部門において、外国投資、合弁事業設立、および総額550億ドル超の販売活動等を自ら開始ないし直接管理する役割を担いました。

「私たちが Anacortes に LAVLE の本社を置いたのは、海洋関連の豊かな歴史と優れた拠点としての地位だけでなく、サンファン諸島が LAVLE が維持したいと考える無垢な自然環境の典型となっているからです。LAVLE 設立に至った当初の着想のひとつとしては、ワシントン州インズレー知事と国際協力銀行 (JBIC) との間で協力覚書の締結に至った構想を私共が支援したことがあげられます。その中で話し合われた協力分野のひとつが船舶の電化でした。そして今日、日本から数社の新たな企業パートナーを、同じ価値観を共有する方々として歓迎致したいと存じます。」

LAVLE の最高技術責任者であり Ockerman Automation の創設者でもあります John Ockerman は、25 年以上の間、海洋技術分野の先駆者でもあります。「電気自動車の場合と同様に、ハイブリッドおよび全電動による船舶の推進機構は、商用および海軍部門の多くのタイプの船舶にとり、ますます標準的になりつつあります。また、グリッド上のバッテリーは、大量の再生可能エネルギーを電力網に取り入れられるようにしています。私共の背景、経験、および合弁事業パートナーにより、LAVLE はこれらの市場において成功を収められる立場にあります。私共は 3DOM が開発している新しい蓄電技術のいくつかについて、とてもワクワクしています。」

アナコルテスと東京に加え、LAVLE はバージニア州ニューポート・ニューズにも進出しており、ここでの地歩拡大も計画しています。

以上